



きのくに探究ワークショップIを開催！

6月25日（木）、和歌山県の探究に携わるすべての教育関係者を対象に「きのくに探究ワークショップI」を開催しました。那賀高等学校と向陽高等学校から取組発表（話題提供）を行った後、『探究活動における教師の役割「伴走」について考える』というテーマでワークショップを行いました。県内外から40名以上の教職員の方が出席され、熱心に議論することができました。



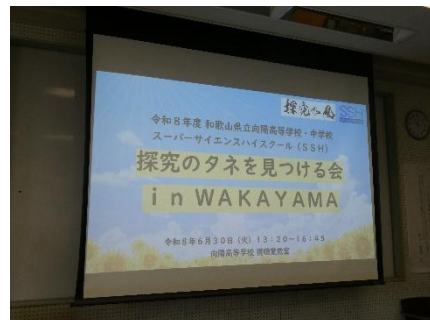
■取組発表（話題提供）① 那賀高等学校 教務部 山中 淑亮 教諭
『那賀高校での「総合的な探究の時間」の変革を目指して』

■取組発表（話題提供）② 向陽高等学校 SSH推進部 谷地 祐介 教諭
『向陽高校・普通科の「総合的な探究の時間」について』



探究のタネを見つける会 in WAKAYAMA を開催！

6月30日（火）、探究に携わるすべての教育関係者を対象に「探究のタネを見つける会 in WAKAYAMA」を開催しました。株式会社ベネッセコーポレーション大阪支社とのコラボ企画で、2年連続の開催となります。株式会社ベネッセコーポレーションベネッセ教育総合研究所主席研究員かつ独立行政法人教職員支援機構（NITS）フェロー／フェローコーディネータである山下真司氏に、『次の10年を見据えた「探究」へ～カリキュラム・マネジメントの中核にどう捉えるか～』と題してご講演とワークショップをしていただきました。県内外から80名以上の教職員の方が出席され、「探究するとはどういうことか」、「探究的な学びをつくるとはどういうことか」等、本質的な問いについて理解を深めることができました。



和歌山県青少年育成協会主催



おもしろ科学体験教室で講師を務めました！

7月4日（土）、和歌山県青少年育成協会主催「おもしろ科学体験教室」が岩出地区公民館で開催され、本校の教員や生徒2名（環境科学科3年生：赤山登菜実さん、福田純伶さん）、卒業生5名（環境科学科15期生：大棟日花莉さん、久山愛咲さん、辻安那さん、福田桃花さん、藤田奏音さん）が講師を務めました。当日は岩出市内の小学1～3年生とその保護者20組程度が参加され、『カエデの種子の模型作成』『レッツフィジックスコンテスト』を体験していただいた後、液体窒素を用いた演示実験『-196℃の世界』を実演しました。

